



今月6月、チョウの食草を植えた取り組み。



チブガウラを訪れた地域の人たちに活動内容を説明する吉村武さん。(写真右)



4月頃、約2,000本のオクラレルカが満開に。

チブガウラ周辺(志真志ハイッ
前)はかつて、雑草が茂り、ハ
ブが生息し、ごみが不法投棄され
る場所でした。活動は、2010年
に引越してきた佐久川正一さん
が、敷地を所有する琉球大学に許
可を得て草刈りやごみの片づけを
始めたことがきっかけです。コッ
コツと活動を続け約1年後には清
流が現れ、次第に地域住民にも賛
同の輪が広がり「チブ川保存会」が
発足しました。

22人の会員は、毎月2回の定期
草刈り作業を続けています。大宜
味村喜如嘉から譲り受けた20本の
オクラレルカは約2,000本に
増え、4月には「オクラレルカ祭」
を開催し、美しい風景を作り出し
ています。オクラレルカはさらに、
浦添市の団体へ株分けし交流が広
がっています。

今では、チブガウラは見事に蘇
り、その奥の拝所であるチブ井の
湧水から続くせせらぎには希少生
物のエビ、カニ等がすみ、地域の子
ども達の自然学習の場として活用
されています。また、オクラレルカ、
桜、コスモス、カンナ等の花が季節
ごとに目を楽しませ、地域住民の
憩いの場、交流の場となり地域の
宝となっています。



NPOチブ川保存会
安森 敏男 会長

「事業活動」を応援する地域づくり助成事業 チブガウラは、地域の宝 NPOチブ川保存会



ぎのわんのチカラ つながる大切さ

■地域の取組み

地域づくりは、次のプロセス(過程)が大切です。
①【地域課題】→②【話し合い】→③【事業活動】→
④【評価】

「地域課題」「話し合い」のプロセスを大切にする取組み

人がつながるといいな 長

田区の人口は増え続けていますが、自治会への加入率は伸び悩んでいる中、地域全体のさまざまな問題が山積しており、これまでのように自治会だけでは対応が難しい状況になっています。

自治会も一つの組織として、長田区に住んでいる方や、その他の団体、地域、行政など全員で話し合う場があれば、地域の問題解決の道筋が見えてくると思います。

長田区では、地域の皆さまが気軽に、地域の課題を話し合う場として、今年の4月から「地域活性化プロジェクト」をはじめました。

このプロジェクトは「人がつながる！地域の子どもは地域で育てる！話し合いの基盤づくり」を目標とし、長田



長田区自治会
富濱 宗俊 会長

区の地域を元気にしたい方ならどなたでも参加できる話し合いの場です。所属や肩書きに関わらず、素直な意見が交わされる話し合いの場として2カ月に1度集まっており、地域づくりに取り組みたい方と一緒に長田区地域の魅力や課題を収集し、企画を考えています。

自治会に加入されていない方も、気軽に参加

～長田区地域活性化プロジェクト～

していただきたいです。参加すると、自治会加入の勧誘を受けたり、班長や行事にかりだされると考える方も多いと思いますが、自治会加入は自治会の活動を知ったうえで加入していただければいいなと思っています。

今後は、自治会員のための地域づくりから、地域全体で開かれた地域づくりを実践し、住民の方が長田区に住んで良かったと思えるまちづくりをしていきたいです。



1



2



3

- 1 警察、PTA、学校、行政、自治会で通学路の安全点検。
- 2 花植え活動で課題解決に取り組み、班を活性化。
- 3 地域の話し合いの場。

地域づくり助成事業募集 ～まちおこしがしたい～

市では、平成29年度(来年度)に人材育成事業(講演会、ワークショップ、勉強会等の開催)、地域文化振興事業(伝統芸能の保存・継承・発展)、市の特性を活かした地域振興事業を行いたい個人または団体に対し、審査を経て選ばれた事業について上限額50万円・30万円の助成を行います。

この助成を活用して、自ら考え自ら行う地域づくりに取り組んでみませんか。

申込方法

助成金の交付を受けようとする個人または団体は、10月31日(月)までに所定の助成事業申込書に必要事項を記入の上、窓口へ提出ください。
※詳しくは市ホームページを確認または、下記へお問い合わせください。
※申込の際には事業内容について事前にお問い合わせ頂けると申請がスムーズになります。

過去に採択された事業

- しまくとぅば継承・普及事業
- チブ川及びチブ井(湧水)保存
- 音楽を活用した青少年人材育成
- 宜野湾市エイサー節収集保存

など



↑人形劇を活用した豊かな心を育む事業

申込み・問合せ 市民協働推進課 TEL893-4411(内線403・422)